

# わたしの提言

## ○投稿内容：統合後の中学校の「放課後の居場所」づくりについて

統合が進むと、通学距離が伸び、家同士が離れ、放課後は「帰宅バスに乗るしかない」という生活になる子どもが増えます。特に冬は暗く、寒く、公共交通の選択肢がないれば、放課後は「家にこもる」しかできません。

保護者からは、次のような声が届いています。

「統合していない今でさえ、公共交通が使えず親の送り迎えが必須。下校時、親が迎えに行くときの待ち合わせ場所付近には屋根もなく、雨や雪に打たれながら子どもは親を待つしかない。親が仕事で遅れる場合や親も、子どもが予定時間に出てこない場合 30 分以上間待つこともあります。子どもにとっても親にとっても負担が大きい現状です。すでに子供たちは、大人の都合で放課後の居場所がないため、自宅でひとりで過ごし、友人との時間はオンラインゲームに依存していきます。」

統合後の子どもたちは、この状況がさらに広がる可能性があります。

現在、中学生には小学生のような「学童」がありません。部活動も縮小が進み、放課後に時間が余りますが、その時間を安全に・健やかに過ごす場所が八幡平市には不足していると感じています。

新しく整備される 大更駅前の図書館・交流施設「8 テラス」が整備途中ですが、ここは“放課後の居場所”として大きな可能性を持っています。公共交通と隣接し、冬でも移動しやすく、学習・交流・活動ができ、友達と一緒に過ごせる。この場所は中高生の居場所である”ユースセンター機能”を持たせるには、非常に相性の良い場所だと感じています。

近年、全国では「ユースセンター」や「ティーンエイジラウンジ」といった 10 代の居場所（学習・交流・相談・軽食・Wi-Fi・キャリア支援）が急速に増えています。八幡平市の中高生の一部は、親の送迎で岩手町のユースセンターに通っており、需要の高さと必要性がすでに可視化されています。

8 テラスは、

- ・図書館と差別化された「10 代専用の放課後スペース」
- ・地域の若者支援の拠点
- ・高校生・大学生・市民ボランティアが関われる場

として、八幡平市の未来づくりに大きく貢献できる可能性があります。

統合後の中学校の場所が「西根中学校」に決まった場合には、「中高生の居場所＝8 テラス」としていただけすると、（ユースセンターの開設含）子どもたちの放課後の孤立を防ぐ強力な施策になると思います。新設される中学校 4 カ所それぞれは、どこに決まっても、放課後、学校から徒歩で通える居場所づくりは中学生にとって必要な機能を満たす、非常に貴重な拠点だと思っています。もし統合校が「西根中学校」ではない別の場所に決まったとしても、同じように、その近隣に「子どもの放課後の滞在場所」が必要だと考えております。これは贅沢な希望ではなく、子どもたちが「孤立しない」「安全に過ごせる」ための最低限の環境整備だと考えます。

また、こども基本法においては、「子どもが自分に関わる政策や計画について意見

を表明できること」が定められています。再編が子どもたちの生活・友だち関係・放課後時間に大きく影響する以上、子どもたちの「中学校統合と放課後の過ごし方」について真実の声を集める機会も必要だと感じ、保護者有志で小学校4～6年生に向けたアンケート案を作成しました。併せて、現役の中学生が放課後どんな困りごとが起きているか（なぜ市内の高校に進学しないのか含）をヒアリングするアンケート案も作成しました。このアンケートは、中学校の候補地の優劣を判断するものではなく、放課後の過ごし方、通学の負担、公共交通の重要性など、“子どもの生活実感”を丁寧に拾うためのものです。結果は、市の検討にも役立てていただけると思います。市として、「義務教育である中学生の放課後の居場所づくり」と「子どもの声の反映」を検討項目に加えていただきアンケートを実施いただけないでしょうか。

さらに、こども基本法（令和5年施行）では、「子どもが自分に関わる政策や計画について意見を表明し、その意見が尊重されるべきこと」が定められています。今回の中学校再編は、子どもたちの通学、安全、交友関係、放課後の過ごし方など、生活の根幹に直接影響する大きな変更です。だからこそ、当事者である子どもたち自身の意見を丁寧に聴き取り、再編計画に反映していただくことが、法の趣旨にも沿うものだと考えています。八幡平市の子どもたちが、そして子供を支える保護者も、地域も、中学校統合後も安心して、温かい放課後を過ごせる未来を共につくっていきたいと心から願っています。

（2025年12月）

## ○回 答

西根・松尾地区中学校の統合については、第3期八幡平市学校適正配置計画に基づき協議検討を行っておりますが、現在は、今年度内に優先候補地を選定するため議論を深めているところです。これまででも検討にあたっては、教職員、保護者、地域住民から構成される学校統合検討委員会、各中学校を会場として開催した住民説明会等でたくさんの方々からご意見をいただきながら協議して参りました。

教育委員会では、児童生徒のより良い教育環境を確保するために小中学校の統合について検討しているわけですが、保護者のみなさんにとりましては、統合に関わって、期待だけではなく不安に感じていることがたくさんあるということは当然承知しております。

今後、西根・松尾地区中学校の優先候補地が決定しますと、新たに専門部会等を組織し、いよいよ具体的な詳細について検討していくこととなります。現在、松尾地区小学校統合につきましても、令和9年4月の開校に向けて「学校経営」「教育課程」「PTA」「地域連携」「管理・事務」の部会に分かれて、詳細についてそれぞれ検討を進めているところです。

今回、みなさまからご提言いただいた内容につきましても、貴重なご意見として承り学校統合検討委員会、学校適正配置庁内検討委員会等にお諮りしながら、今後、新たに組織する専門部会等におきまして検討の参考とさせていただきたいと考えております。

（市教育委員会事務局 教育総務課）

事業評価区分：E （問い合わせに対する回答）